



MAKABE STONE LIGHT

「石の真髄、石の明かりの可能性」

真壁石は古くから石仏、城郭などに使用されてきた硬質で堅牢なみかげ石です。

真壁の石燈籠は平成7年に伝統的工芸品として指定されていますが、現代の生活空間でも使える石の明かりとして「MAKABE STONE LIGHT」が生まれました。

石燈籠製作の技術を活かし、石の特性を引き出す新しい明かりの佇まいを提案します。

MAKABE STONE LIGHT

伝統工芸として歴史を刻んできた「燈籠」を現代的に解釈し、石の生活製品としての機能性を大事にした製品です。

重い・固いという石のイメージをメリットして捉え、空間と調和するデザインが特徴です。

Designer: 村澤一晃

Cooperative: 真壁石材協同組合

Coordinate: メイド・イン・ジャパン・プロジェクト株式会社



デスクライト

石の重さを活かした緊張感のあるデザイン。手元を優しく照らします。

W335, D60, H355 mm

木部は桐材無塗装



テーブルライト

石を割った際に生まれる偶然の形「割れ肌」を活かしたデザイン。

W145, D60, H265 mm



フロアライト

石燈籠のイメージを残すモダンなデザイン。手軽に持ち運べる明かり。

105φ, H135 (灯具セット時は H145) mm



MAKABE STONE



茨城県桜川市真壁地域では、現在でもみかげ石を豊富に産出している日本有数の産地です。真壁石は、およそ6,000万年前に生成されたとされる石英・長石・黒雲母からなる花崗岩で、優美・堅牢で、目が揃っており、変色やつや落ちせず、明治32年の赤坂迎賓館造営の際に使用され、真壁石の良質さが広く世に知られるところとなりました。

子弟相伝で伝承されてきた石材加工の高度な技術に特徴があり、伝統的工芸品として指定の石燈籠の完成までには18の伝統技術・技法が使われ、彫りに使う鑿(のみ)も、角切り・中切り・荒はつり・角座つきノミと多種にわたり、これら道具もまた石材工芸の研鑽の歴史を引き継いでいます。

天然石の特徴

本製品は、茨城県桜川市真壁町で産出する真壁石(小目,中目)に限り使用し、真壁石材協同組合員が加工しています。

- 天然石を使用しているため、色調や石目がすべて異なります。天然石特有の鑄入り、筋目などをあえて残した品もありますが、自然の表情としてお楽しみください。
- 天然石の個性を生かすため、製品は、割り肌・切り肌・サンドブラスト・水磨きという技術で仕上げております。

使用上のご注意

- テーブルライトとフロアライトは屋外で使用できませんが、完全防水ではありません。
- 落下など急激な衝撃を与えないでください。割れの原因になります。
- 重量がありますので落下による怪我の恐れがあります。移動の際には充分お気を付け下さい。
- 水平な場所でご使用ください。不安定な所に置くと、転倒や落下の原因になる場合があります。
- 油分は表面につくと落ちにくく、染みの原因になります。
- 酸性の洗剤や強いアルカリ性の洗剤を使用すると染みの原因になることもあるので、弱い酸性あるいは中性洗剤を使ってください。洗剤使用後は必ずしっかり水洗いしてください。

製品に関する問い合わせ先

真壁石材協同組合
300-4408 茨城県桜川市真壁町真壁402
TEL.0296-55-2535 FAX.0296-54-1855
e-mail: makabe@ibarakiken.or.jp

- 商品価の仕様は予告なく変更する場合がございます。
- 掲載している商品の色調は印刷の都合により、実物と違いが生じる場合がございます。あらかじめご了承ください。
- オーダー後のキャンセルはお受けできません。
- 不良品、運送破損などは商品到着後3日以内にご連絡ください。